

国語 第1学年 くわしく かこう

検討会の想定問答

指摘 1: ねらいが曖昧ではないか。この単元で何を身に付けさせたいのか。

返し: 中心はB(1)ア「経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること」。単元名の「くわしく」は、色・形・大きさ・さわった感じなど、知らせるために必要な事柄を集めて確かめることを、子どもの言葉にしたもの。合わせてB(1)ウ・オと(1)オを評価する。

指摘 2: 評価規準は何か。どこで見るのか。

返し: 3観点で書いた。文末は国立教育政策研究所の参考資料に合わせ、知識・技能と思考・判断・表現は「～している」、態度は「～しようとしている」。知識・技能①は第3・4時の観察カード、思考・判断・表現①は本時の観察カード（書き足した所と花丸）と行動観察、②は第8・9時の文章、③は第10時の付箋と発言、態度①は第1時の様子と第9・10時の読み返しと振り返りで見る。

指摘 3: 言語活動は何か。

返し: B(2)ア「身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動」。学校で見付けた物を観察し、家の人に知らせる文章を書く。読み手を家の人に決めることで、何を書けば伝わるかを子どもが考えやすくなる。

指摘 4: 生活科の観察カードと何が違うのか。

返し: 生活科は対象に親しみ、気付いたことを表す学習。この単元は、集めた事柄から伝えたいことを明確にし（B(1)ア）、文と文の続き方に気を付けて文章に書き表す（B(1)ウ）ことをねらう。題材を生活科で育てている物と同じにするのは、第3の1(7)の「他教科等との関連を積極的に図り、指導の効果を高める」に当たる。

指摘 5: 個に応じた指導はどうするのか。

返し: 書くのが苦手な子には、話したことを先生が短く書き取って写させ、振り返りは口で言ってもよいことにする。平仮名の書きに不安がある子には五十音表を手元に置く。早く終わる子には「何に似ているか」と比べる言葉を書き足させる。第3の1(9)の「困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫」に当たる。

指摘 6: ICTは使わないのか。

返し: 端末で知らせたい物の写真を撮っておき、教室で拡大して見返すことに使う。生き物は動くので、写真があると色や形を確かめ直せる。第3の2(2)の「コンピュータや情報通信ネットワークを積極的に活用する機会」に当たる。端末が無ければ、先生が撮った写真を印刷して配れば同じ活動ができる。

指摘 7: 教科書の例の文章どおりに書かせればよいのではないか。

返し: 教科書の例は、どんな事柄を書けばよいかを知るための物で、題材は子どもが学校で実物を見られる物に置き換える。実物を見て書く事柄を集めることが、B(1)アの「必要な事柄を集めたり確かめたりして」に当たる。教材は第3の3(1)の「言語活動が十分行われるよう教材を選定する」に沿う。

指摘 8: 10時間は長い。時間が足りない。

返し: 10時間は光村図書の年間指導計画例の配当に合わせた。書くことは第3の1(5)で第1学年及び第2学年に年間100単位時間程度を当てるとされ、その中の一つの単元である。削るなら、第3時と第4時の観察を一時間にまとめ、第7時と第8時の書く時間を一時間にする。

指摘 9: 発問が多すぎないか。

返し: 本時の中心発問は「おうちの人が見たことがなくても様子が目に浮かぶように知らせるには、どんなことを書けばよいか」の一つ。質問の言葉カードは、子どもどうしが使う道具で、先生の発問ではない。(1)オの語句は、第3の1(3)にあるとおり、書くことの指導を通して扱うので、別の発問は立てない。

指摘 10：板書はどう使うのか。

返し：質問の言葉カードを単元の間ずっと同じ場所に貼り、本時は先生のカードの例に、子どもの質問で書き足した文を赤で書き込んで見せる。比べる言葉と様子を表す言葉の欄は、子どもから出た言葉を書き足して残し、次の時間からの書く活動で使う。

指摘 11：1年生に振り返りを書かせられるのか。

返し：「ともだちに きかれて、…を かきたしました」の型を一つだけ示し、書けない子は口で言わせる。何を書き足したかを子ども自身が言えることが、B(1)アの「集めたり確かめたりして」ができたかを見る手がかりになる。

指摘 12：学習指導要領のどこに書いてあるのか。

返し：第2〔第1学年及び第2学年〕2内容B書くこと(1)ア・イ・ウ・エ・オと(2)ア、〔知識及び技能〕(1)ウ・オ、学年の目標(2)(3)、第3の1(5)(7)。原文は授業の設計図の「学習指導要領のどこに書いてあるか」の欄に載せた。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo)
https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

